



静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

SUAC

シンポジウム

浜松で考える多文化共生のフロンティア

浜松市は多文化共生先進都市として広く知られ、行政や民間団体等による先駆的な取り組みが展開しています。本シンポジウムでは、多文化共生をめぐる代表的研究者・実践者をお招きし、現在の浜松の状況はどの面で多文化共生のフロンティアであり、どの面に取り組むべき課題があるかを明らかにします。

2015年

10月17日 土 13:00~17:30

プログラム

会場：静岡文化芸術大学 南280中講義室
対象：多文化共生に関心のある方ならどなたでも(参加可能人数150名)
入場：無料
申込：事前申込み不要
主催：静岡文化芸術大学
後援：外務省、在浜松ブラジル総領事館、静岡県、公益財団法人静岡県国際交流協会(SIR)、浜松市、公益財団法人浜松国際交流協会(HICE)

13:00~	趣旨説明	池上重弘(静岡文化芸術大学教授)
	基調講演	駒井洋(筑波大学名誉教授、移民政策学会会長) 「多文化共生研究の歩みと課題」
	報告1	山脇啓造(明治大学教授) 「移民統合をめぐる国際的動向と浜松市の取り組み」
	報告2	土井佳彦(多文化共生リソースセンター東海代表理事) 「多文化共生社会における市民活動と大学の連携」
	休憩	
	報告3	イシカワ エウニセアケミ(静岡文化芸術大学教授) 「在日ブラジル人の25年間の歩みー 第二世代の現状と展望」
	報告4	高畑幸(静岡県立大学准教授) 「浜松市におけるフィリピン人コミュニティの現状と課題ー 日系人の増加を中心に」
~17:30	全体討論	コーディネーター 池上重弘



駒井洋 山脇啓造 土井佳彦 イシカワ エウニセアケミ 高畑幸 池上重弘

本事業は、2015年度静岡文化芸術大学イベント・シンポジウム等開催費「浜松で考える多文化共生のフロンティア」(代表：池上重弘)、「はままつ多文化共生MONTH」および「日ブラジル外交関係樹立120周年事業」の一環です。



浜松で考える 多文化共生の フロンティア

2015年

10月17日 土

13:00~17:30

入場
無料

会場：静岡文化芸術大学 南280中講義室

申込：事前申込み不要

1990年の改定入管法施行前後から外国人受入をめぐる問題について精力的に発信してきた駒井洋筑波大学名誉教授が多文化共生研究を大きく俯瞰した上で、欧州の状況にも浜松の政策にも詳しい山脇啓造明治大学教授が移民統合の国際的動向を踏まえて浜松の取り組みを評価します。本学がとくに力を入れて取り組んでいる地域連携活動については、多文化共生リソースセンター東海の土井佳彦代表理事が市民活動側からの視点で評価し今後に向けて問題提起をします。ブラジル人コミュニティの現状と課題についてはイシカワ エウニセ アケミ 静岡文化芸術大学教授が、また、フィリピン人コミュニティの現状と課題については高畑幸 静岡県立大学准教授が、長年の研究を踏まえて報告します。これらの報告の後、浜松における種々の取り組みや本学の実践的研究について評価すべく全体討論を行います。

■お問い合わせ

静岡文化芸術大学 〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1
Tel 053-457-6111(代) Fax 053-457-6123

文化政策学部国際文化学科 池上重弘研究室

Tel 053-457-6156 E-mail:ikegami@suac.ac.jp

■アクセス

【徒歩】JR浜松駅から徒歩15分 遠州鉄道「遠州病院駅」下車 徒歩8分

【バス】浜松駅バスターミナル

- ⑩番のりば 遠鉄バス「文化芸術大学」下車 ※70番子安・笠井行きを除きます。
- ⑫番のりば 循環まちバス「くるる」東ループで、「文化芸大」下車

2F



駒井 洋

筑波大学名誉教授、移民政策学会会長

「多文化共生研究の歩みと課題」



山脇 啓造

明治大学教授

「移民統合をめぐる
国際的動向と浜松市の取り組み」



土井 佳彦

多文化共生リソースセンター東海代表理事

「多文化共生社会における
市民活動と大学の連携」



イシカワ エウニセ アケミ

静岡文化芸術大学教授

「在日ブラジル人の25年間の歩みー
二世世代の現状と展望」



高畑 幸

静岡県立大学准教授

「浜松市における
フィリピン人コミュニティの現状と課題
ー日系人の増加を中心に」



池上 重弘

静岡文化芸術大学教授

趣旨説明・全体討論コーディネーター

